

学校だより



平成29年度 第42号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30. 3. 14

3月の俳句 賑やかに別れ惜しみて卒業日

有吉 桜雲

感動の卒業式、立派な3年生でした。

3月10日(土)に本校第57回卒業式が行われました。卒業生66名が卒業にふさわしい立派な態度で巣立っていきました。中学校の卒業式は、義務教育9年間の締めくくりであり、それぞれの進路に分かれていきます。9年間のさまざまな思いが、こみ上げてくることもあるでしょう。そして、今年は、希望者によるサンキュー・ハーモニー実行委員の皆さんの卒業生への呼びかけと、1, 2年生全員による卒業生の退場時のリコーダーの演奏のおかげで、例年にもまして、感動的な思い出に残る卒業式になりました。

壇上で卒業生に卒業証書を渡し、一人一人の顔を見ながら、入学のときからの3年間の成長を大きさを感じました。卒業生の皆さんも、それぞれに3年間の重みと、いろいろなできごとをふり返っていたのかと思いました。また、退場時の呼びかけでは、1, 2年生から別れを惜しむ涙が見られ、卒業生や保護者の皆さんの感涙を誘いました。多くの来賓、保護者の方からも賛辞の声をいただきました。卒業式後も3年生は、自主的に集会を開き、お世話になった3年生の先生方に感謝の気持ちを伝えたそうです。そこでは、卒業式以上に泣きはらす生徒が多くいたと聞きました。写真での紹介になりますが、感動の卒業式の様子をお知らせします。

1, 2年生には贈る言葉として、3年神戸省吾君の答辞の一部を紹介しします。卒業生としての答辞は、1年後に卒業を迎える2年生にはぜひ心に留めておいてほしいと思います。

平成二十九年度 卒業式 答辞

(前文略)

また、私たち3年生が、今日まで誇りをもって進めたのは、1, 2年生の皆さんが私たちを信じてついてきてくれたからです。これからも仲間を信じ、力を合わせて、この南河内中学校を、さらにすばらしい学校にしていってください。

私たちが生まれてから15年間、いつも家族の支えがありました。辛いことや悲しいことがあった時もすべてを受け入れてくれる温かい家族の存在は、とてもありがたく、そして大切なものだ、改めて感じます。どうかこれからも見守ってください。

今日、私たちはこの南河内中学校を卒業します。着慣れた制服、通い慣れた通学路、3年間過ごした南河内中ともいよいよ別れの時です。私たちの前にある新しい扉を開く時が来ました。これから先、思うように前に進めず、大きな壁にぶつかる時もあるでしょう。しかし南河内中学校で刻んだ一つ一つの思い出が、これからの大きな自信となり、私たちを奮い立たせ、乗り越える力となります。

(中略)

卒業生を代表し、ここでもう一度、心から感謝の言葉を申し上げ、答辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

今が私たちの旅立ちの時です。

中学校生活に悔いはありません。

みんな、ありがとう。

そして、さようなら。

卒業生代表 神戸 省吾





3月13日(火)に臨時朝会を開き、各学年主任の先生方と校長より、1、2年生の行き届いた準備やサンキュー・ハーモニー実行委員の皆さんに感謝の言葉を伝えました。準備の仕事も、「よくやっていた」だけでなく、「自分から」、「一生懸命に」、「3年生に喜んでもらえるように」という気持ちが感じられました。本当にありがとうございました。